

1 研究主題

(令和5～7年度 3か年継続研究 2年次)

ふるさと釧路でともに学び 豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進

2 研究推進の概要

(1) 釧路校長会研究協議会の開催

○第1分科会「組織マネジメント」

「アセスメントに基づいた経営ビジョンの策定と、その具現化における校長の指導力
～チーム学校として機能する、多様な人材を活かした組織づくりと働き方改革の推進～」

◇浜中町校長会の提言発表

○第2分科会「人材育成」

「教職員個々のキャリアステージに応じた研修の仕組みをつくり、適切に指導助言を行う校長の指導力」

◇厚岸町校長会の提言発表

○各分科会での協議（研究協議テーマ）

協議① 提言に基づくグループ協議

協議② 個人レポートの内容に基づくグループ協議

(2) 研究紀要の発行

(3) 各種会議の開催、各種大会への参加

3 研究の成果と課題

(1) 釧路校長会研究協議会について

○研究主題のもと、2人の校長が課題別テーマに即した提言発表を行った。自校の実践にとどまらず、校長会としての組織的な取組や関係機関との連携について発表する機会となった。

○各分科会では、提言発表や個人レポートの内容に基づき、課題解決に向かう校長の指導性について協議した。学校力の向上と信頼される学校づくりに生かすことができる実りの多い研修となった。

・第1分科会「組織マネジメント」

研究の視点：学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと運営における校長の指導力

2年次テーマ：アセスメントに基づいた経営ビジョンの策定と、その具現化における校長の指導力

・第2分科会「人材育成」

研究の視点：「令和の日本型学校教育」を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力

2年次テーマ：教職員個々のキャリアステージに応じた研修の仕組みをつくり、適切に指導助言を行う校長の指導力

○6年度から研究紀要をデータ配信とした。

1 研究主題

(令和5～7年度 3か年継続研究 3年次)

ふるさと釧路とともに学び 豊かな社会を創る児童生徒の育成を目指す学校教育の推進

2 研究主題設定の趣旨

令和の時代に入り、情報化やグローバル化が加速度的に進展するとともに、様々な社会環境の変化、価値観の多様化も一段と進むなど、社会の在り方そのものが劇的に変わってきている。一方、少子高齢化、人間関係の希薄化、家庭の教育力の低下、子供の生命・人権や貧困など、教育環境にも関わる多岐にわたる課題が顕在化している。さらに環境問題や新型コロナウイルス等の感染症、大規模災害、国際情勢の諸課題のような、地球規模の新しい問題についても対応していかなければならない。

このように、予測困難な問題が出現する未来社会を子供たちが豊かに健やかに生き抜いていくためには、初めて出会う様々な問題にも主体的に挑戦し、他者と協働して知恵を出し合い、解決したり、新たな価値を創造したりする力を育成していかなければならない。その原動力として、自らが生まれ育ったふるさとの自然・歴史・文化を学びの原点とし、様々な人とのつながりの中で学び合い、自らの人生や社会をよりよくしていこうとする思いや、持続可能で豊かな未来社会を創り出すことに貢献しようとする意欲を育てることが大切である。

3 研究内容

(1)組織マネジメント

～学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織づくりと運営における校長の指導力～

(3年次テーマ) 学校内外と連携・分担しカリキュラム・マネジメントの充実を図る校長の指導力

(2)人材育成

～「令和の日本型学校教育」を担う教師の資質・能力の向上を目指す校長の指導力～

(3年次テーマ) 多様な人材を活用し、教職員個々の強みを活かした学校経営を推進する校長の指導力

4 研究推進計画

(1)町村校長会と連携を図り、年間計画に沿った研究を進める。

(2)研修部会を定期的に行い、組織的な研究推進を行う。

(3)今年度の道小根室大会、令和8年度全連小北海道大会および道中函館大会での提言に向けて特別委員会を組織し、発表資料・原稿の作成にあたる。

(4)10月に「第66回釧路校長会研究協議会」を開催し、研究成果の発表・交流を行う。

(5)年度末に研究の成果を「研究紀要」に集録する。

5 研究組織

(1)研修部会(釧路校長会担当役員・研修部長+町村研修部長で組織)

(2)特別委員会(釧路校長会担当役員+研修部+委嘱する委員で構成)

6 その他

○全道、全国大会への参加の促進

①道小根室大会 ②道中胆振・室蘭大会 ③全連小福岡大会 ④全日中香川大会